

子供の未来へ繋ぐ委員会事業計画

子供の未来へ繋ぐ委員会 委員長 木村 哲也

子供たちを取り巻く成長過程での環境は多様化していますが、本来彼らは無限の可能性を持って生まれてきています。我々の暮らす地域に根付いた、創造力を美術教育の中で育む文化は、この時代だからこそ、更なる向上が求められます。美しい未来を創る子供たちには、我々大人が今一度寄り添い歩む事の大切さを思い起こし、子供たちの笑顔あふれる家庭や地域の実現には、ありのままの自己表現を余すことなく発揮できる環境が必要です。

まずは、子供たちの生まれ持った想像力を解放させるために、原体験の中から学び創り出される5月例会を開催し、主体的に創造を続ける楽しさを体験してもらいます。そして、保護者の方々にも子供たちに必要な環境を再認識してもらうために、童心に戻り体験する場を設営し、親子で褒め合い承認しあいます。さらに、子供たちの想いや個性が尊重される場の中で、様々な作品に触れ、他者を認める楽しさも感じてもらうために、第34回芳賀教育美術展及び子供審査会を開催、広く発信し、地域全体で子供たちの創造力と成長を後押しします。また、創造力開発を認められる喜びを体感してもらうために、親や他者から称賛される中での厳粛で盛大な表彰式を開催し、子供たちの自己肯定感を未来への糧とします。そして、伝統ある美術展を永続的に開催していくために、我々が創造美育運動を根底から学び現代の時勢にも適する形へと育み、教育者や保護者に理解と協力を得ながら美術展を継承していきます。さらに、この運動に対する気概を未来の同志にも伝え、地域に影響を与える組織であり続けるために、メンバー全員で仲間の増強を図る支援をします。

地域独自の「創造美育」という文化を持つ中で我々が先導に立ち、無限の可能性と創造力を発揮し続けている子供たちに経験したことのない今を与え続けることで、お互いに多くの学びを得て、誰も想像もしたことのない未来へと邁進し、この環境を繋いでいきます。

<事業計画>

1. 第34回芳賀教育美術展開催と基本運営の検討
2. 創造力に今を取り入れた事業の実施
3. 全員で動く実働的な会員拡大
4. 2021年とちぎ宇都宮大会へ向けて日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロックへの参加及び協力